

競技注意事項

1. 規則について

本大会は、2019年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合せ事項によって行う。

2. 練習場および練習について

練習は指定された練習場で係員の指示に従うこと。

①補助競技場での練習は、トラック競技・跳躍競技のみとする。

②砲丸投の練習（メインボールを使った練習も含む）は投てき競技場で行うこととする。砲丸を使つての練習時間は、女子は8：30～9：30、男子は11：00～12：00の時間帯のみとする。その他メインボール等を使つての練習は、各学校の指導者の責任の下、上記時間帯以外でも行うことができる。

③7：00～8：00の間はメイン競技場も使用することができる。（トラック競技のみ）

④バックスタンド下の室内練習場の使用は7：00～8：00と開会式終了後とし、開会式中は使用できない。（雨天時は別途指示をする）

⑤補助競技場のレーン使用区分は、原則として次の通りとする。（練習場計画参照）

（ア）1・2レーンは中長距離

（イ）3・4レーンは短距離

（ウ）5・6・7・8レーンはハードル関係（予選後は7・8レーンのみ設置）

3. 競技者の招集方法について（コール）

①招集所は、炬火台下通路（1階）に設ける。（招集所は大変混雑するので、招集所を絶対に横切らない。）

②各種目の招集開始時刻・完了時刻は、その競技時刻を規準とし、下記要領で行う。コールは1回だけ行う。（予選・決勝ごとに行う）

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	15分前
フィールド競技	60分前	40分前

③招集開始時刻には招集所で待機し、係員から最終点呼を受ける。同時に、胸・背・腰のナンバーカード、シューズ、衣類等、競技場内への持ち込み物品などの確認を受ける。

④他の種目に出場しているなど特別な事情がある場合に限り、代理人による招集を認める。この場合、必ず競技者係主任に申し出る。同時刻帯に2種目を兼ねて出場する競技者も同様である。

⑤招集完了時刻に遅れた場合、当該種目を欠場したものとして処理する。

⑥やむを得ず欠場するときは、各郡市監督が欠場届に記入の上、競技者係に提出する。（欠場届は招集所に準備してある）

⑦リレーに出場するチームは、「リレーオーダー用紙」（プログラム末尾に添付及び招集所に準備）に必要事項を記入の上、招集完了時刻の60分前（競技開始の75分前）まで、招集所に提出すること。リレーの招集は、メンバー全員招集所に待機すること。またリレーのユニフォームはチームで統一すること。（体育服のラインの色違いやメーカーの都合で若干のデザインの違いは可。ランパンの下にスパッツを着用する場合は、全員統一して着用すること。また、スパッツの色違いや短パンの色など服自体の色違いは不可。）マーカーは本部で準備します。

⑧競技場への入場は、競技者誘導係によって行う。

4. ナンバーカードについて

①全ての競技者は、ユニホームの胸と背に、配布された大きさのままつける。

但し、跳躍競技者は、胸、背部いずれか一方だけでもよい。リレー種目でのナンバーカードも「割り当てられた番号」を必ずつける。

②トラック競技出場の競技者は、全て腰ナンバーカードを着用する。（リレーはアンカーのみ。）腰ナンバーカードは招集所で交付する。

※「各郡市番号」

玉名・荒尾 1～100	山鹿市 101～150 841～860	菊池郡市 151～200 861～880
阿蘇郡市 201～250 881～900	上益城郡 351～400 921～940	熊本市A 251～320
熊本市B 501～550 321～350	宇城郡市 401～450 941～960	八代 551～600 981～1000
球磨郡市 601～650 1001～1020	芦北郡 651～700 水俣市 1021～1040	天草郡市 751～800 1061～1080

（注）個人種目とリレー種目を兼ねる場合も同一ナンバーカードであること。

5. 組合せ・走路・試技等について

- ①トラック競技は、全て写真判定装置を使用する。
- ②トラック競技決勝のレーン順は、本部で抽選により決定する。
- ③レーンを使用する場合は、1～9レーンを使用する。
- ④短距離競走のフィニッシュ後は、競技者同士の安全のために自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ⑤1000m～800mとハードル、リレー種目は予選を実施し、決勝は8名で行う。同記録があった場合は9名で行う場合もある。レーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決める。それでも決定できない時は抽選を行う。
- ⑥1年1500m、2年1500m、代表男・女1500m、3000mは決勝のみ行う。
- ⑦フィールド競技で試技に要する時間は、棒高跳は支柱移動完了から1分30秒以内、その他のフィールド競技は試技ができる準備完了から1分以内とする。
- ⑧女子800mのスタートについて、予選はオープンで行い、決勝はレーンで行う。
- ⑨男子3000mは、グループスタートで行う。
- ⑩砲丸投はメイン競技場で行う。
- ⑪スタートの合図についてはイングリッシュコマンド「オン ユア マークス」「セット」で行う。フライングについては、1回目の選手から失格とする。
- ⑫走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。（変更することもある。）

種目	練習	1	2	3	4	5	6	6回目以降
男走高跳	1m45 1m70	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	最後の1人となり、優勝が決まるまで3cmずつ上げる。
女走高跳	1m10 1m40	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	
男棒高跳	2m20 3m20	2m40	2m60	2m80	3m00	3m10	3m20	同上で10cmずつ上げる
女棒高跳	2m00	2m20	2m40	2m60	2m70	2m80	2m90	

6. 競技場への入退場について

- ①競技場への入退場については、すべて競技役員の誘導により行う。
- ②トラック競技者の衣服は、係員がフィニッシュ地点ゲートの受け渡しゲートに搬送しておく。

7. 抗議について

- ①競技中におきた競技者の行為または順位に関する抗議は、規則第147条にもとづき、結果の正式発表後30分以内に、また次のラウンドが行われる種目では、結果の正式発表後15分以内に、本人または郡市監督から審判長に対して口頭で申し出る。
- ②審判長の裁定に不服の場合は、上訴審判員に預託金10000円を添えて文書で上訴する。この預託金は抗議が却下された場合は返却しない。

8. 表彰について

- ①各種目ごとの表彰は第3位まで行う。その競技終了後ただちに本部席前で行う。
- ②第1位から第3位までの入賞者は、係員の誘導によって入賞者控え所に行き、表彰式まで待機すること。他の出場種目と重なる場合は、代理人をたてること。

9. 更衣室について

- ①更衣室は、補助競技場及び雨天練習場横の更衣室を使用すること。
- ②更衣室は、更衣のみに使用する。シャワーなどの使用は禁止する。

10. 競技用具について

- ①競技に使用する用器具は全て主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。ポールについては、その競技開始前に跳躍場で跳躍審判員の検査を受け、許可されたものが使用できる。
- ②フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは、主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。個人の所有物は使用できない。

11. 競技用靴について

- ①競技場は全天候舗装である。
- ②スパイクの数は11本以内で、長さ9mm、走高跳は12mmを越えてはならない。またスパイクの先端の直径は4mm以内とする。（第139条④）

12. その他

- ①トラック・フィールド内には、その種目の出場者、役員以外は監督といえども立ち入らないこと。
- ②上訴審判員（3名）をおく。
- ③オープン種目と他の種目は重なって出場してもよい。
- ④携帯電話等の電子機器、それに類する通信機器等は競技場内に持ち込まない。
- ⑤大会申し合わせ事項も併せて確認しておくこと（特に応援については熟読し厳守すること）。